

医療の質可視化プロジェクトの結果

2022年10月－12月（E期間）

2023年1月－3月（F期間）

●医療安全		計測期間	手順通り	分母	分子	計測値
1指標	【MSM-01】 入院患者の転倒・転落発生率	E期間	はい	27498	79	2.9%
		F期間	はい	27190	84	3.1%
2指標	【MSM-02】 入院患者での転倒転落によるインシデント・アクシデント影響度分類レベル3 d以上の発生率	E期間	はい	27498	1	0.0%
		F期間	はい	27190	1	0.0%
3指標	【MSM-03】 リスクレベルが「中」以上の手術を施行した患者の肺血栓塞栓症の予防対策の実施率	E期間	はい	271	216	79.7%
		F期間	はい	172	143	83.1%
●感染管理		計測期間	手順通り	分母	分子	計測値
4指標	【IFC-01】 血液培養2セット実施率	E期間	いいえ	609	463	76.0%
		F期間	いいえ	630	498	79.0%
5指標	【IFC-02】 広域スペクトル抗菌薬使用時の細菌培養実施率	E期間	DPCデータがないため今回は不可。			
		F期間				
6指標	【IFC-03】 手術開始前1時間以内の予防的抗菌薬投与率	E期間	はい	1180	986	83.6%
		F期間	はい	1255	1038	82.7%
●ケア		計測期間	手順通り	分母	分子	計測値
7指標	【CRM-01】 d2（真皮までの損傷）以上の褥瘡発生率	E期間	はい	2733	29	1.1%
		F期間	はい	2716	20	0.7%
8指標	【CRM-02】 65歳以上の患者の入院早期の栄養ケアアセスメント実施割合	E期間	はい	959	657	68.5%
		F期間	はい	1037	737	71.1%
9指標	【CRM-03】 身体拘束率	E期間	はい	27498	957	3.5%
		F期間	はい	27190	988	3.6%

他施設
(400-600床)
の平均値

担当者コメント

2.58	他施設と同程度であった。
0.08	他施設より発生率が非常に低いことが分かった。
89.89	実際は該当するほぼ全ての手術症例で必要な対策が行われているが、手術室でフットポンプを使用したにもかかわらず管理料が算定できていないケースが多数あった。その後算定法を業務改善しているため今後の計測値の変化を注視する。
78.50	他施設と同程度であった。小児を除くと97-98%実施している。引き続き小児以外の2セット培養率を維持していく予定。
81.40	計測法について検討中である。
82.00	375件/2435件で投与なしとされたが、分母に精神科電気痙攣療法が含まれるなど、計測法の誤りがあった。またカルテシステム上注射実施時刻が記録されておらず、SOAP欄や麻酔記録へ手入力されているためデータの可用性がきわめて低い。システムの検討が必要と考えられる。他に開始後投与が21件、1時間以上前に投与されているものが15件あった。
0.09	分母を誤って入院数としていたため、およそ10倍の計算結果となっていた。正しく入院患者延べ数(入院数×日数)とした場合は他施設と同程度である。
86.10	栄養管理テンプレート(conut)が使用された件数をカウントしている。実施率向上のため、各科部長を通じて栄養評価の徹底を図っている。
11.10	他施設より拘束率が非常に低いことが分かった。

医療の質可視化プロジェクトの結果

2023年4月－6月（G期間）

2023年7月－9月（H期間）

●医療安全

指標	【MSM-01】	入院患者の転倒・転落発生率	計測期間	手順通り	分母	分子	計測値
1指標	【MSM-01】	入院患者の転倒・転落発生率	G期間	はい	28698	79	2.8%
			H期間	はい	28647	80	2.8%
2指標	【MSM-02】	入院患者での転倒転落によるインシデント・アクシデント影響度分類レベル3 d以上の発生率	G期間	はい	28698	2	0.1%
			H期間	はい	28647	1	0.0%
3指標	【MSM-03】	リスクレベルが「中」以上の手術を施行した患者の肺血栓塞栓症の予防対策の実施率	G期間	はい	843	750	89.0%
			H期間	はい	617	542	87.8%

●感染管理

指標	【IFC-01】	血液培養2セット実施率	計測期間	手順通り	分母	分子	計測値
4指標	【IFC-01】	血液培養2セット実施率	G期間	いいえ	727	513	70.6%
			H期間	いいえ	688	542	78.8%
5指標	【IFC-02】	広域スペクトル抗菌薬使用時の細菌培養実施率	G期間	はい	205	154	75.1%
			H期間	はい	191	158	82.7%
6指標	【IFC-03】	手術開始前1時間以内の予防的抗菌薬投与率	G期間	はい	1197	1067	89.1%
			H期間	はい	1156	1038	89.8%

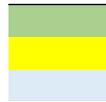
●ケア

指標	【CRM-01】	d2（真皮までの損傷）以上の褥瘡発生率	計測期間	手順通り	分母	分子	計測値
7指標	【CRM-01】	d2（真皮までの損傷）以上の褥瘡発生率	G期間	はい	28147	27	0.1%
			H期間	はい	27640	16	0.1%
8指標	【CRM-02】	65歳以上の患者の入院早期の栄養ケアアセスメント実施割合	G期間	はい	1001	708	70.7%
			H期間	はい	1014	694	68.4%
9指標	【CRM-03】	身体拘束率	G期間	はい	28698	830	2.9%
			H期間	はい	28647	1057	3.7%

他施設
(400-600床)
の平均値

担当者コメント

2.59	他施設と同程度であった。
0.07	他施設より発生率が非常に低いことが分かった。
91.44	手術室でフットポンプを使用した場合に確実に管理料を算定するよう業務改善した。その結果、前回計測より大幅に改善し、他施設と同程度になった。
81.64	G期間2023.4-6月は他施設より11ポイント低かった。小児を除くと97-98%実施している。
81.46	他施設と同程度であった。
82.34	他施設より高い投与率であった。
0.07	前回は集計ミスがあったが、今回は正しく測定できた。他施設よりやや高い。
90.97	栄養管理テンプレート(conut)が使用された件数をカウントしている。
10.70	他施設より拘束率が非常に低かった。



前回より改善
他施設より悪い
他施設より良い